

九州工業大学



安川敬一郎



山川健次郎

九州工業大学は、1909年(明治42年)、明治産業界の重鎮であった安川敬一郎・松本健次郎父子によって、日本の工業教育の向上と、北九州工業地帯発展を目的に、「明治専門学校」として開校されました。創立経営を託された理学博士山川健次郎は、この学校では単に技術習得を目指すばかりでなく人間形成の場でなければならないという理念を掲げました。その目的、精神は脈々と受け継がれ、今にいたるまで多くの優秀な人材を輩出しています。

所在地 〒804-8550
福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1

連絡先 ☎093-884-3007(総務課)

URL <http://www.kyutech.ac.jp>

アクセス JR鹿児島本線九州工大前駅より徒歩約8分
JR鹿児島本線戸畑駅より西鉄バス(2番・5番)工大前下車徒歩約1分
JR鹿児島本線小倉駅より西鉄バス(92番・93番)工大前下車徒歩約1分

九州工業大学正門 (旧明治専門学校表門)

経済産業省認定
近代化産業遺産



大学の正門といえば、それぞれに個性を持った仕様で造られています。九州工業大学正門も重厚な造りで、鉾津煉瓦(こうさいれんが)ブロック(溶鉱炉で鉄鉱石を精錬する際に副産するスラグが主材料です)で造られています。

明治専門学校が開校した1909年(明治42年)、鉾津煉瓦を開発した八幡製鐵所に近かったことからこれを用いたといわれており、当時の最先端の技術が取り入れられています。



正門守衛所 (旧明治専門学校表門守衛所)

経済産業省認定
近代化産業遺産

1909年(明治42年)の学校設立以来ここで多くの学生を見守り続け、現在も創立当時のまま、その役割を果たしています。この守衛所は小さな建物ですが、佐賀県唐津市で生まれ、東京駅などの設計で知られる辰野金吾の設計によるものです。正門とともに明治専門学校創立当時から残る建物です。